

## セミナーの概要

### 1-1 開催概要

ワーク・ライフ・バランス普及啓発を目的に、港区内中小企業経営者、人事担当者等を対象に、広くワーク・ライフ・バランスの周知を図る講演会と導入に繋げるセミナー・相談会を一体化した「講演会・セミナー」を開催しました。

今年度、「講演会・セミナー」は、平成29年10月と平成30年2月頃の2回開催予定であり、今回は、その第1回目の開催です。

- ◆開催日時：平成29年10月24日 18:30～20:30
- ◆開催場所：港区立港勤労福祉会館 第一洋室
- ◆主催者：港区産業振興課港勤労福祉会館
- ◆講師：株式会社 Waris 代表取締役/共同創業者 田中美和 氏  
平成28年度港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業者  
「企業（主に中小・ベンチャー）とプロフェッショナルの女性  
フリーランサーを業務委託契約にてマッチングする企業」
- ◆講演テーマ：第1回港区中小企業ワーク・ライフ・バランス経営セミナー  
「時短・在宅勤務・フリーランス・・・多様な人材活用で事業  
成長を加速させる方法」
- ◆参加者数：29名
- ◆アンケート回答数：18名

### 1-2 開催構成

#### 第一部 18:30～20:30

- ◆挨拶、施策説明 上嶋英治氏（港区産業振興課港勤労福祉会館 館長）
  - ◆港区ワーク・ライフ・バランス推進企業認定事業者の登録方法について  
（港区総務部総務課人権・男女平等参画課 二宮崇浩氏）
  - ◆基調講演 田中美和氏（株式会社 Waris 代表取締役/共同創業者）  
「時短・在宅勤務・フリーランス・・・多様な人材活用で事業成長を加速させる方法」
  - ◆質疑応答
- 休憩 10分

#### 第二部 20:40～21:00

- ◆ワーク・ライフ・バランス何でも相談会

## 2. セミナーの内容

### 2-1 内容概要

株式会社 Waris 代表取締役/共同創業者 田中美和氏による「時短・在宅勤務・フリーランス・・・多様な人材活用で事業成長を加速させる方法」の講演を実施しました。

文系総合職女性が「雇われない働き方」を選ぶ背景などについてご説明いただき、「フリーランスの活用」について、Waris 登録者のモデルケースを交えてご紹介いただきました



〔株式会社 Waris 代表取締役/共同創業者 田中美和氏〕

### 2-2 内容詳細

株式会社 Waris は、新たな人材活用の手法として、文系総合職出身のフリーランスとプロマッチング事業を実施しています。



〔講演中の田中美和氏〕

## I. 「雇われない働き方」を求め集まった 4000 名の女性たち

株式会社 Waris の、平均的な登録者像は、

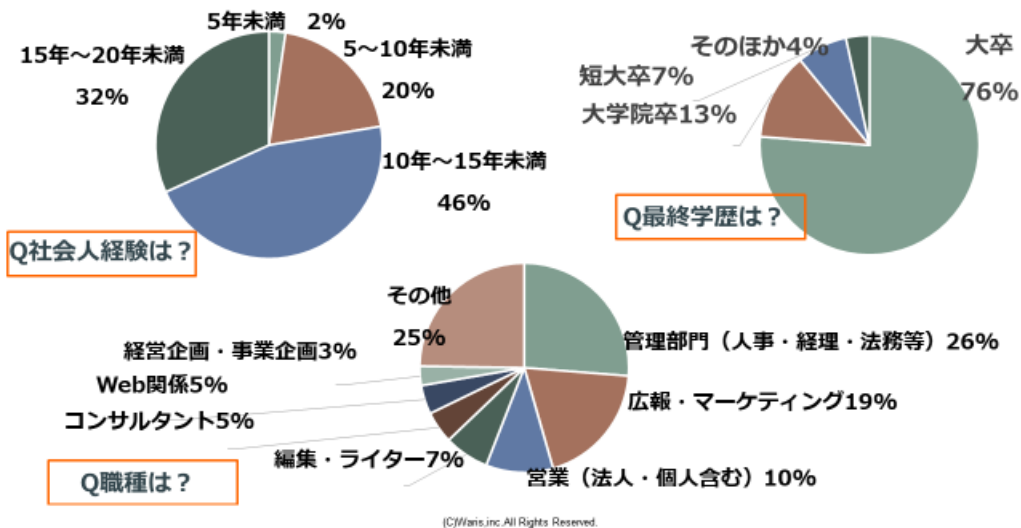
- ✓ 会社等の組織で一定の就業経験を持った子育て中の女性であり、自発的な理由（WLB の充実やキャリア形成、自己実現など）により、フリーランスという働き方を選択している。
- ✓ 生計を立てるための収入を得る役割は配偶者と共に分担でき、自身が家計を背負う唯一の働き手ではない。
- ✓ 企業とは業務委託契約を結び、週 4 日程度、1 日 4～5 時間程度、豊富なスキル・経験を生かした非定型・高度知的業務に従事

という内容をお話いただきました。

## ■ Warisご登録者アンケートについて



- ・調査時期：2015年12月17日～2016年1月8日
- ・調査対象：Warisご登録者（有効回答率10%/202名が回答）
- ・調査方法：インターネット
- ・平均年齢：38.1歳（既婚91%/子どもあり82%/管理職前後の総合職女性を中心に）



〔講演内容より〕

## II. 新たな人材活用の手法 離職人材の雇用

離職している元総合職女性も同じく宝の山ですが、元総合職女性が正社員として再度活躍できる道は限られています。

しかしながら、次のようなことから、元総合職女性が正社員として再度活躍できる道は限られています。

- 離職期間が長くなる程、企業は敬遠する傾向
- 再就職を支援する機関でさえ、離職期間のある人、基幹職を担いたいとする人を敬遠する傾向にあり、応募のきっかけをつかめず、自信を喪失

## III. キャリア女性が重視するのは、両立支援+仕事の質、やりがい

仕事を選択するうえで重視するものについては、

- ワークライフバランスが実現できるかどうか
- スキルや経験が生かせる仕事内容か
- やりがいを感じられる仕事内容か

が、上位となっています。

#### IV. 株式会社 Waris の働き方の特徴

- 社員全員リモートワーク
- コア 2 時間のハイパーフレックスタイム
- 利用の定めがない！時短正社員
- だれでも兼業 OK！

となっています。

株式会社 Waris の働き方を支えるツールとしては、

- ① Google apps  
(スケジュール共有、ファイル共有、WEB 会議等),
  - ② Team Spirit  
(勤怠管理&経費精算)
  - ③チャットワーク  
(社内コミュニケーション、タスク管理)
  - ④HDE One  
(クラウドセキュリティツール)
- があります。

それぞれのツールについてご紹介いただきました。

(質疑)

Q1：優秀な人材を採用するために柔軟な働き方を推進することはわかったが、導入したくてもできない会社もある。柔軟な働き方は、どういう業種、職種で可能なのか。

A1：リモートワークは工場や工事現場ではできない。そこに行くこと自体が重要な職場がある。弊社では営業だけでなく、人事、経理でもリモートワークを実施している。また、どういう業種がうまくはまるのかと言えば、IT関係の会社は紹介したツールを導入していることが多いので、可能性が高いのではないかと。



Q2：建設業界は、ほとんどフリーランスで働いているが、今は社員化を進めているところだ。社会保障費を削減したり、労働基準法を回避するためにめにフリーランスを使っていた。その辺の弊害をどうするのか。

A2：私ども1社で解決する問題でなく、一般社団法人プロフェッショナル&パラレルキャリア・フリーランス協会で行き組む問題であると考えている。現在の税や社会保障の仕組みは雇用関係を前提に作られているが、フリーランスに適した仕組みに変えていくべきでないか。また、フリーランス協会ではフリーランスの方が業務上で相手に損害を与えてしまった場合の損害賠償責任保険を有料で提供している。

Q3：偽装請負への対応はどうか。

A3：弊社ではその業務が業務委託に適した業務であるかどうかを確認して、場合によっては雇用契約に切り替えたりしている。また、業務委託は勤怠管理NGなので、そこを事業者に伝えている。



〔会場からの質問を受ける田中美和氏〕